

高茎葉消化性 の 早生サイレージ用 トウモロコシ品種

# タカネスター

「耐倒伏性」「耐病性極強品種」



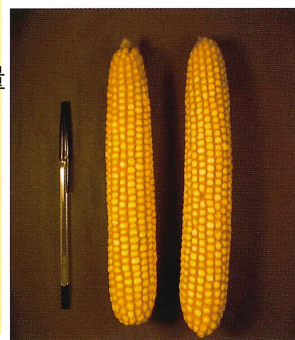
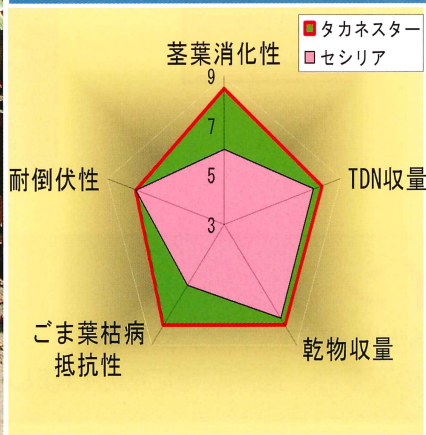
栽培適地

東北から九州（春播き）

RM 113の早生種

タカネスターの特性  
「セシリア」との比較

茎葉の消化性 と ごま葉枯病抵抗性が抜群

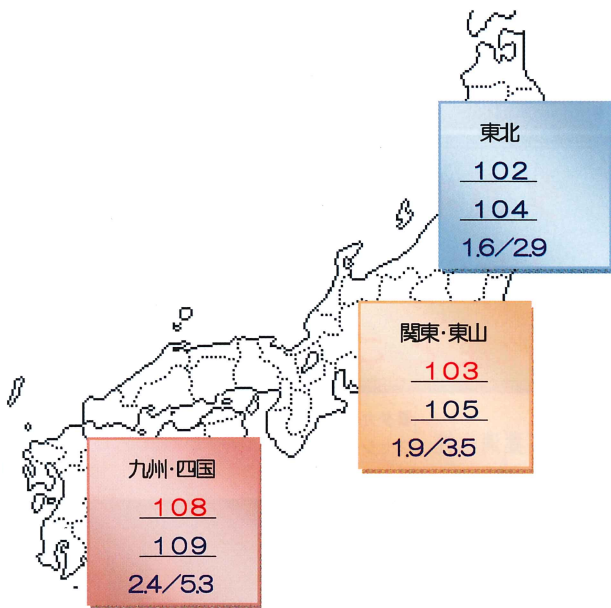
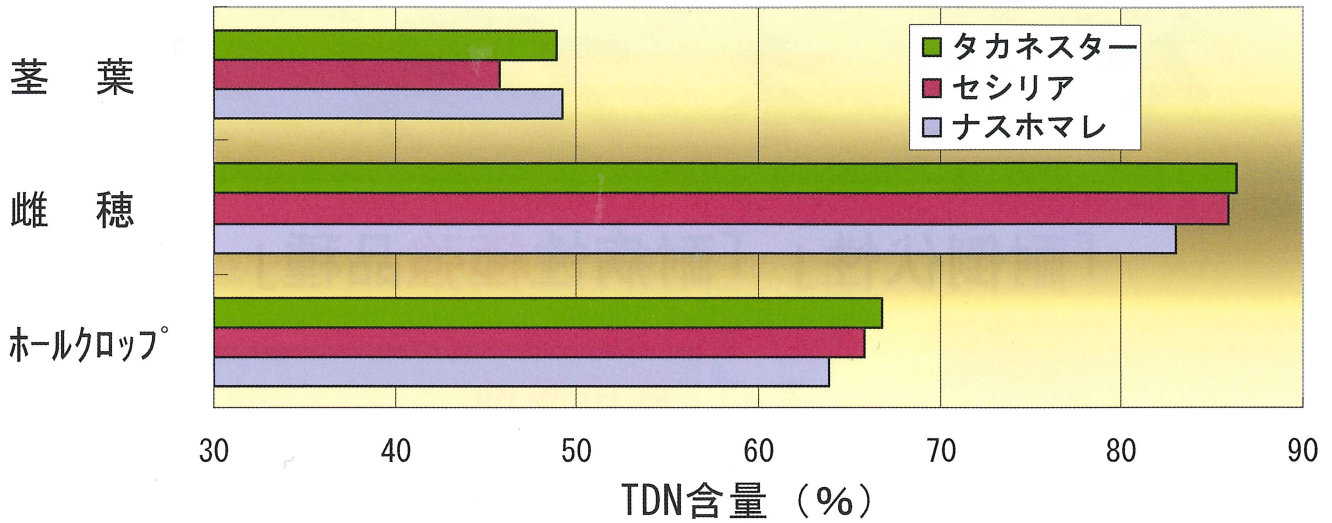


○茎葉の消化性に優れ、乾雌穂重割合は中程度です

○乾物収量、TDN 収量ともに多収です

○耐倒伏性は強～極強です ○ごま葉枯病抵抗性、すす紋病に抵抗性に優れます

高茎葉消化性；タカネスターは茎葉消化性に優れ、ホールクロップのTDN含量は既存品種を上回ります。



### 広域適応性

タカネスターは東北から九州の各地に適応する、多収で耐病性の品種です

○上段：乾物収量のセシリア対比 (%)

○中段：TDN 収量のセシリア対比 (%)

○下段：ごま葉枯病発病程度 タカネスター/セシリア

\* (1 無~9 甚)

### 栽培のポイント

○最適播種密度は7-ル当たり 650~750 本程度

○九州、四国では春播き用です

○枯れ上りはやや早めですが、適期収穫に心がけましょう

### 育成経過

○長野県中信農試育成のフロント種自殖系統を花粉親に、畜産草地研究所育成のデント種自殖系統を種子親にした一代雑種です

【育成機関】 問い合わせ先：

長野県畜産試験場 飼料環境部

TEL 0263-52-1188 FAX 0263-51-1316